

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市総合教育研究所運営委員会
- 2 開催日時 令和8年7月28日（火）午後3時から4時40分まで
- 3 開催場所 水戸市総合教育研究所 水戸の教育研究室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委 員 河原井 信幸、藤枝 祥子、比佐 中、白土 恵美、吉原 理恵子、竹田 明子、桜井 みどり、小川 哲哉、鈴木 宏一
 - (2) 執行機関 田村 悟、熊田 泰瑞、安田 理恵、吉野 直美、内田 理恵
 - (3) その他
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 令和8年度総合教育研究所運営方針及び事業について（公開）
 - (2) その他
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
 - 令和8年度第1回水戸市総合教育研究所運営委員会次第
 - 令和8年度総合教育研究所要覧
 - 別紙 水戸市教育施策大綱
 - 水戸スタイルの教育

9 発言の内容

【執行機関】

ただいまから、令和8年度第1回水戸市総合教育研究所運営委員会を開催いたします。はじめに、委嘱状につきましては、既に委員の皆様の机上に配布してございますので、そちらをもって委嘱状の交付とさせていただきます。

なお、委嘱の期間につきましては、水戸市総合教育研究所条例の規定等により令和8年6月7日から1年間となりますので、御承知おきくださいますようお願い申し上げます。

また、本運営委員会においては、議事録作成のため、録音をさせていただいております。

それでは、はじめに、水戸市総合教育研究所 所長の田村より、御挨拶申し上げます。

（所長挨拶）

【執行機関】

次に、委員の皆様から自己紹介をお願いいたします。委員名簿の順に自己紹介をお願いいたします。

【___委員】___です。よろしくお願いいたします。

【___委員】___です。よろしくお願いいたします。

【___委員】___です。よろしくお願いいたします。

【___委員】___です。よろしくお願いいたします。

【___委員】___です。よろしくお願いいたします。

【___委員】___です。よろしくお願いいたします。

【___委員】___です。よろしくお願いいたします。

【___委員】___です。よろしくお願いいたします。

なお、___委員につきましては、所用により御欠席との連絡をいただいております。

【執行機関】

ありがとうございました。次に、事務局職員の紹介をさせていただきます。

(事務局紹介)

【執行機関】

本日は、10名の委員のうち、9名の委員に御出席いただいております。水戸市総合教育研究所条例第8条第2項に規定する運営委員会の定足数に達しておりますことを御報告いたします。

会議の開催に先立ち、水戸市総合教育研究所条例第7条第3項の規定に基づき、運営委員会の委員長及び副委員長を選定させていただきたいと思っております。僭越ながら、事務局から案をお示しさせていただきます。委員長は、___委員に、副委員長は、___委員に、それぞれ、お願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

【委員】異議なし

【執行機関】

ありがとうございます。それでは、委員長は、___委員に、副委員長は、___委員にお願いいたします。なお、委員長及び副委員長には、後程、議事録の御確認と署名をお願いいたします。

委員長、副委員長には、所定のお席へ御移動くださいますようお願いいたします。

それでは、改めまして___委員長から御挨拶をお願いいたします。

【委員長】

___の___と申します。ただいま、御指名をいただきまして、当運営委員会の委員長を務めさせていただくこととなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

当運営委員会につきましては、水戸市総合教育研究所の事業や施設管理の内容につきまして、それぞれのお立場から御意見や御助言をいただき、今後の総合教育研究所の運営に生かしていくものと伺っております。

本日は、令和８年度の運営方針及び事業について、事務局からの説明の後、御協議いただく予定でございます。

各委員の皆様におかれましては、忌憚のない御意見を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【執行機関】

ありがとうございました。それでは、議事に入りますが、水戸市総合教育研究所条例第８条第１項の規定に基づき、議事進行を____委員長をお願いしたいと思います。

____委員長、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、議長を務めさせていただきます。早速ですが、次第に基づきまして議事を進めてまいります。

はじめに「（１）令和８年度総合教育研究所運営方針及び事業について」、事務局から一括して説明をお願いします。

【執行機関】＜資料に基づき説明＞

—資料に関する質疑—

【委員長】

はじめに、水戸スタイルの教育の事業に関する説明について、御質問や御意見を賜りますが、いかがでしょうか。

【____委員】

「規律と協働を高める八策」について、教員側が努めるものと子どもたちが頑張るものの２つが混在しています。教員、こどものどちらの目線なのか、分かりにくい部分がありますので、どちらかに統一されるとやりやすくなると思います。

【執行機関】

確かに混在しておりますので、今年度見直しを図ってまいりたいと思います。

【____委員】

事務局の説明で事業内容はよく分かりましたが、事業に対しての評価が全くありません。総合教育研究所が評価するものと学校側が評価するものが分からず、同じような事業を実施しても、水戸市の子どもにどんな力が身についたかが見えてきません。これを来年度も同じ内容で開催しても運営委員会の意味が全くないと思います。結局、今まで展開してきた事業について成果が上がったのか、課題が残ったのか、成果が上がって到達したのであれば、新たな事業に展開するのかなというのが施策事業ではないのでしょうか。実績数も見えておりませんし、経年変化も分かりません。毎年同じことをやっているような感じで、実際にその事業が子どもたちにとってよいものなのか、改善すべきなのが見えませんので、そこがこの運営委員会の課題と

なるところだと思います。

また、事業内容が総合教育研究所が主管となって実施している事業なのか、校長会が主管となって実施している事業なのか、教育会が主管となって実施している事業なのかは区別されておられません。校長会や教育会が実施している事業を、あたかも総合教育研究所が主管となって実施しているような表現の仕方はよくないと思います。

学校教職員の委員は分かるかもしれませんが、こういう事業を実施して、どういう成果が上がったかということを伝えないとその他の委員には伝わらないと思います。その上で、評価が低かった事業についてはどういうことをしていけばよいのかという御助言をいただく場なのではないでしょうか。

学校運営協議会も学校の紹介をする場ではなく、学校の課題に対して地域の方と知恵を出し合う場ですから、この運営委員会もそういう場にしないと形骸化したものになってしまいます。

例えば、英会話力の向上のための事業を実施しておられますが、先日、令和7年度の英語教育実施状況調査が公表になりました。茨城県の結果が新聞に掲載されましたが、水戸市の取組がこどもの英会話力にどう現れているのかを検証すべきで、今後どのように展開していけばよいのか、委員からアドバイスをいただいた方がよいのではないのでしょうか。例えば、保育所や幼稚園から必要なのか、小学校からやれば間に合うのか、中学校からで間に合うのかということなどをきちんと整理していかないと紹介するだけのものになってしまうのではないかと思います。

学校教育を充実させるためには何の力が必要なのかということ、地域の力、郷土愛など出てきますが、実際に学校教育が担うものは何なのかをもう一度整理しないといけないと思います。次期学習指導要領の中でも、「民主的で持続可能な社会のつくり手をみんなで育む」と謳われておりますように、これから学校が担うものはこどもたちの育成だけではありません。自治会の加入や地域力の低下、少子高齢化が進んでいるところを見ますと、学校が今後、地域や水戸市のために何をしなければならないのかを考えていく時代になっているのではないのでしょうか。そのために教育委員会が市長部局と相談しながら、「こういうこどもたちを育てなければならない」という視点で事業を考えていかないと、毎年同じことをやっていて、成果が見えないので協議になりません。来年度は、ある程度成果を示してほしいと思います。学校教職員以外の委員に意見をいただいた方が活性化した有意義な委員会になるのではないのでしょうか。

【____委員】

前年度の第2回運営委員会は書面開催でした。____委員が評価についておっしゃられたように、第2回も対面で開催する必要があると思います。

水戸スタイルの教育に関する事業は全て重要な事業ですが、もっと効率化を図る必要があるのではないのでしょうか。「ふれあいプラン」は重要で喫緊の課題でもあります、「チャレンジプラン」、「グローバルプラン」、「キャリアプラン」としてこれまで実施してきた事業を整理、統合する必要があるのではないかと思います。保幼小連携の問題でいいますと、遊びがメインの幼稚園と小学校とではこどもたちの環境が全く異なりますので、小学校に入って戸惑うこどもたちにうまく対応できない教員もおります。こうした保幼小連携の問題もありますので、どれとどれをやるのか、成果が出たから続けるのか、成果が出ないものは別の形で代替していくのかをまとめる作業があった方がよいのではないかと思います。それがないと「チャレンジプラン」、「グローバルプラン」、「キャリアプラン」はどんどん肥大化していくのでは

ないでしょうか。ぜひ、スクラップアンドビルドをやっていただきたいと思います。

次にICTについてでございますが、私は小中学生には生成AIを使わせるべきではないと考えますが、学校の教員については生成AIをもっと活用した方がよいと思います。例えば、AIを使えば期日等の予約の受付が瞬時に可能になります。また、グループワークでも、AIの意見を聞きながら話し合いを行ったり、歴史的人物との対話もできたりします。業務の効率化や負担の軽減のため、先生方は生成AIを使っていくべきだと思います。

【____委員】

私は、____において放課後こども教室を行っています。働き方改革が進められている中、学校によっては開催時間を短くするように言われたり、午後4時30分には学校を出るように言われたりする場合があります。放課後こども教室は、放課後学級とは異なり、こどもたちが様々な体験をしたり、様々な年代の方と交わったり、自分たちで何かを創造したりする大変貴重な時間であると思います。学校で難しければほかの部署で管理していただくとか、あるいは地域の方をお願いするとか、放課後こども教室に十分な時間を確保できるよう考えていただきたいと思います。

総合教育研究所の事業とは関連しないところかと思いますが、市長部局等と連携して実現していただきたいと思います。

【____委員】

こどもの預かりのための「放課後学級」と学びの場である「放課後こども教室」とは実施目的が全く異なりますが、その違いを学校長等が理解していない場合があります。まずは、その理解を進めるためのコーディネートをしていただけるとよいのではないかと思います。

【____委員】

私は、第1回目の次世代エキスパート育成事業で理科を担当しておりました。これまで名称や内容を改めながらやってこられました。参加したこどもたちがどのような道に進んだかなどは追っていないと思います。最初に参加したこどもたちは今20代半ばになります。参加したこどもたちがどのような活躍をしているのかがある程度見えると、やっていることの意義はとても大きいと思います。参加して終わりではなく、参加した成果が見えるとよいのではないのでしょうか。

【____委員】

参加者数も分からないし、単年度だけの参加なのか、継続して参加しているのか分かりません。そういうところが分かれば、もっとこういうことをやった方がよいとか、終了してもよいのではないかとかが見えてくるのではないかと思います。

【執行機関】

今年度は105人、昨年度も同程度の参加者があります。参加したこどもたちの進路について、どこの高校に進んだかまでは追えますが、その先は高校に調査したり、参加時に同意を得て数年後にアンケートをとったりする必要があり、なかなか進路を追っていくことは難しい状況です。

実施後の保護者・子どもへのアンケートにつきましては、ほぼ 100 パーセントの子どもが「満足」と回答しており、保護者からも「子どもが進路を考える機会になった。」「子どもが学校では味わえない体験をすることができ、学ぶ意欲が高まった。」という意見をいただいております。一方、翌年度の参加者が増えるかということとそこまでではございません。

【____委員】

自分の子どもも小学 6 年生の時に理科の次世代エキスパート事業に参加しました。1 回目の実験に大変感動し、大学は理学部化学科に入りましたので、影響は大きいものと思います。

また、先ほどの放課後子ども教室についてでございますが、新学習指導要領において放課後の時間が長くなる見込みでありますことから、昨年度、学校長会で先進地である東京都目黒区の取組を視察してまいりました。目黒区では、長くなった放課後の時間に、勉強したい子どもは勉強、昔遊びをしたい子どもは昔遊びをするということが地域において活発に行われており、教員は次の日の準備をしっかりと行うというところで学力は落ちていないとのことでありました。これから放課後の時間の使い方が重要になってくることを感じてまいりましたが、校長会だけでは放課後の時間を充実させることは難しく、水戸市と話し合いながら進めていく必要があると考えております。

最後に、水戸スタイルの教育についてでございますが、私が校長を務める学校では、教員を「チャレンジグループ」「グローバルグループ」「キャリアグループ」「ふれあいグループ」の 4 つに分け、校務分掌も分けて取り組んでいるところです。毎年度、それぞれのグループで重点的に取り組む事業を絞り、目標を立てて取り組んでおりますので、2 月にこの運営委員会で評価をして、来年度はどこを重点的に取り組むのかというところを明らかにしていただけると学校においても取り組むべき事業が決められるのではないかと思います。

【委員長】

2 月頃に第 2 回運営委員会を開催し、そこで事業の成果や結果を出していければと思います。総合教育研究所要覧についても、新年度早期に配布いただけると学校としてもありがたいと思います。

【執行機関】

本日の資料につきましては、今年度実施している内容になっておりますが、教育委員会といたしましては、別途、点検・評価を行い、これまでの実績を含めて次年度に何を重点的に取り組んでいくかということを検討しているところでございます。次年度の事業を決めるということではなく、方向性を検討するということであれば、なるべく早い段階で御意見をいただくのがよいと思います。開催時期は検討させていただきますが、ある程度の実績をもとに、来年度こういうことをやっていきたいという方向性も含めて、第 2 回運営委員会でお示しできればと思います。

予算については、実績等に基づいて要求を行っております。11 月に要求を行い、1 月下旬に内示が出て、そこで概ね事業が固まってくるというスケジュールですので、例えば第 1 回の運営委員会で御意見をいただきながら、御意見を予算要求に反映していくやり方もあるかと思います。実績を示しながら、協議を行いたい内容についてお示ししていきたいと思います。

【___委員】

全部が全部予算が必要な事業ではないですし、予算を要求する時には、成果や課題についての資料を財政課に提示しているのではないのでしょうか。それを全て見せてほしいというわけではありませんが、やはり課題や成果が分かるとよいと思います。

【委員長】

事務局に、運営委員会の開催時期や内容の検討をお願いします。

【___委員】

将来的な水戸市や地域を見据えて事業を考えていくのは必要なことですが、それにはすごく時間がかかることだと思います。英語特区が始まった時は大騒ぎでしたが、ある先生が「5年経てば、ある程度行き渡って落ち着くよ。」とおっしゃいました。確かに5年のうちには様々な地域の事例を参考にしながら、水戸市独自のものを作り上げ、今軌道に乗って10年以上が経っております。強行突破して、時代の波に乗って実施する必要がある事業もあり、それが大学の先生や校長先生等によって精査されたものが選ばれたのであれば、何とか現場はそれに追いつこうとしたいと思っています。どの事業が大事で、どの事業が大事でないかという吟味までは教諭の立場ではできませんが、自分は、ある程度教務の教育課程の遂行や生徒指導の体制づくり等について発信できる立場ではあります。しかしながら、種々の事業については担任の校務分掌に頼るところが大きく、学校内での共有はなかなかできないでおります。そのため、よい内容のものが正しく現場に伝わる工夫も必要で、副委員長がおっしゃったように、いくつかの事業を選んで取り組むという方法も大事な視点だと思いました。

【___委員】

「防災リーダー育成事業」について、水戸市では同じような内容の事業が12月頃にあります。それぞれの事業の違いが分かりませんでしたので、確認しましたところ、実施主体が異なるためそれぞれの事業があるとのことでした。市長部局と総合教育研究所とで擦りあわせながら実施しているのでしょうか。どのような目的でこどもを参加させればよいのかと考えるとところもありますので、同じような内容の事業であれば一つにしてもらえるとよいと思います。

【執行機関】

各課で目標を掲げて実施している事業であります、確かに外からは同じような事業に見えるものもありますので、各課としっかり連携を図っていきたいと思います。

【委員長】

次に、研究事業、研修事業、特別支援教育に関する事業、教育相談に関する事業について御意見はございますでしょうか。

【___委員】

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにつきまして、水戸市独自で配置されていると伺いましたが、配置人数とどれくらい学校から要請があつて、対応されているのかをお伺いいたします。

【執行機関】

スクールカウンセラーにつきましては、令和6年度から本市独自に1名配置しているほか、茨城県からも16名派遣されております。分担といたしましては、茨城県のスクールカウンセラーは主に中学校、本市のカウンセラーは小学校や緊急的な対応を担っております。本市のカウンセラーは、令和7年度は1名が延べ250件の対応を行ったところです。週3日の勤務ではありますが、ほぼ毎日フル稼働の状況です。

本市のスクールソーシャルワーカーについては、2名配置しております。令和4年度に1名配置しましたが、学校からの要請が多くありましたので、令和6年度からは2名配置しており、茨城県からも派遣がありますので、合わせて活用しているところでございます。活用状況といたしましては、令和7年度は2名を年間延べ1,700回学校に派遣しており、こちらもほぼ毎日稼働している状況でございます。

【____委員】

ありがとうございます。それから、校内フリースクールに関しまして、民間フリースクールとの研修会を年1回実施されているとお伺いしましたが、どのような内容なのでしょうか。

【執行機関】

水戸市のこどもが通っている民間フリースクールに声を掛け、それぞれの取組状況の情報共有を行ったり、専門の方に御講演をいただいたりしています。主として情報共有と研修の場として活用しております。

【____委員】

ありがとうございます。もちろん順調に、楽しくフリースクールを利用されている方もいらっしゃると思いますが、フリースクールは学校が苦手な子どもたちが通うところであるのに、市立学校のフリースクールは、先生の服装、部屋の雰囲気などすごく学校だなと感じるところがあります。前のドアから入ろうとしたら、後ろのドアから入ろうねと言われてたりもしました。

民間のフリースクールの関係者と話をすることがありますが、「民間のノウハウを市立にも取り入れられたらいいよね。」という話も出ております。不登校のこどもが増えて大変な事情があると思いますが、学校のフリースクールが充実すれば経済的にもすごく助かりますので、その辺りをよろしくお願ひしたいと思います。

また、総合教育研究所で教育相談を実施したり、うめの香ひろばを開設したりしていただいているところですが、こどもが不登校になって困った時にその情報がどこからも入って来ず、自分でインターネットで検索して総合教育研究所に相談したという保護者が多いと聞いています。こどもが不登校になったときは、保護者はパニックになってしまいます。また、仕事をしていたり、兄弟もいたりすると、自分でインターネットで相談先を探し、平日の昼間に仕事の合間を縫って相談先に電話をするというのはすごく労力が必要です。最初に頼りにするのは学校の先生ですので、信頼している先生から総合教育研究所などの相談先がまとまったものを提供していただけたらありがたいと思っています。

【委員長】

相談体制の周知ということですね。生徒指導主事は研修を受けたりしていると思いますが、

いかがでしょうか。

【___委員】

基本的にはお休みされている子どもやその保護者に対して学校からアプローチしないということはありません。家庭訪問を行うなど対面でのアプローチを行っています。それでもなかなか改善せず、学習は進んで、教室の景色が遠くなってしまうという場合には、総合教育研究所にどのようにアプローチすればよいかを相談しながら進めています。うめの香ひろばを勧めたり、学校に分からないように相談できる機関もありますので、茨城県や水戸市の相談先を提供したりしながら、最終的には保護者が選択するということになります。仕事の都合や相談しやすい機関というのもありますので、学校から保護者にお勧めするのが通常かと思います。

【___委員】

本校でもなかなか学校に来られない子どもがおりますが、基本的に何もアプローチしないということはありません。保護者から学校に関わってほしくないと言われると困ってしまいますが、そうした時も総合教育研究所に相談したり、校内でケース会議を開いたりしながら進めています。

【___委員】

そうなのですね。なかなか保護者からは見えにくいのかもしね。先生が親身になってくださっていても、子どもが不登校になってパニックになっている時には見えにくいのです。それで孤立してしまったり、子どもが昼夜逆転してしまっていることを先生に「昼夜逆転はよくないですね。」と言われて焦ってしまったりします。同じ状況にある保護者同士が横で繋がって情報交換ができればよいのですが、総合教育研究所で実施されている保護者会も年間の回数が少なく、家庭だけで孤立してしまったり、総合教育研究所の担当者も忙しく、なかなか相談ができなかったりするようです。また、一生懸命相談しても、その対応によって傷ついて塞いでしまう方もおりますので、最初の対応がすごく大事だと感じています。一番最初に頼るところが総合教育研究所ですので、相談員の対応など、よろしくお願いしたいと思います。

【委員長】

ありがとうございました。御意見を参考にしながら、初期対応など相談体制を整えていただければと思います。

【___委員】

研修事業についてでございますが、要請訪問等の訪問指導の際に、担任が作成した指導案を学校内で揉んで修正しております。これでよいのかなと思いながら修正しておりますので、指導案について指導主事から御助言をいただければと思います。指導案を出して終わりではなく、指導主事からのレスポンスがあるとよいと思います。

【執行機関】

今年度は学校と事前に相談させていただきまして、一人一人の指導案について個別に助言してほしいという学校には個別に助言を行っております。また、協議の中で助言を行っていき

いという思いもありますので、協議の中で授業の主題に沿って助言を行うという場合もあります。打合せの際に、指導主事にお伝えいただければと思います。

【委員長】

最後に、施設管理について御意見はありますでしょうか。

長寿命化の工事ということですが、どれくらいの計画で考えているのでしょうか。10年後20年後でしょうか。

【執行機関】

今後数年間のうちに実施したいと考えておりますが、庁内で合意がとれているものではなく、現時点で決定しているものはございません。

【___委員】

部活動の地域移行の進捗状況についてお伺いしたいと思います。

【執行機関】

本年9月から中学生の休日の部活動を本市直営の地域クラブに移行し、こどもたちのスポーツ活動・文化活動の環境を維持継続していく取組を進めております。具体的には、現在活動している種目は16種目ございますが、16種目全てを網羅した市内123の地域クラブにより開始する予定でございます。現在、参加生徒の募集を行っているところです。

この事業は、希望する教員のほか、地域の方々が指導者となり、地域としての枠組みの中でこどもたちの活動を指導していくものでございます。現在は事業の立ち上げ段階で、これまでの学校の部活動との温度感の整合性をどう図っていくか、どのように情報共有などを図っていくかなど試行錯誤しているところではありますが、試行錯誤しながら、ある程度の時間の中で熟成されていくものと考えております。

願いといたしましては、教えを受けた生徒が大学生、社会人になった時に自分たちが指導者になろうという好循環の中で、地域の魅力や地域の力が活性すれば、水戸らしい魅力ある事業として育っていくと思いますので、お見守りいただければと思います。

【___委員】

水戸市教育会で小学校にお世話になることはありますが、幼稚園は、こども部幼児保育課に移管されたことで、総合教育研究所との距離ができてしまったように感じております。

今年度から架け橋カリキュラムの作成を行うこととなっておりますが、なかなか市内全部への周知は難しいのかなと思います。

水戸市のカリキュラムはできていて、今度は学区ごとに作成してくださいという中で、先日の研修会でも何から始めていったらよいのかというのが実際です。水戸市立の幼稚園・保育所だけでも、総合教育研究所から周知していただける機会があれば、もう少し進むのではないかと思います。

今後どのように進めていくかが見えておりませんので、総合教育研究所の力を借りて進めていくことも必要なのではないかと感じています。

【____委員】

なぜ中学校区ごとに架け橋カリキュラムを作成させるのかが分かりません。小中学校区のランドデザインも形骸化しています。作成するのが目的であって、その作ったものに対してどう持続可能な取組にしていくかということについては、学校に余力がありません。水戸市の架け橋カリキュラムがあれば、それに基づいて保育所・幼稚園・小学校は連携しながら、色々な活動を取り入れていけばよいものを、新たに学区ごとの実情に応じたカリキュラムを作成するというは二重の負担ではないでしょうか。

まずは、大きな土台となっているものを、みんなできちんとやりましょうというのがスタートだと思います。それをカスタマイズして行って、地域性を出してやりましょうという方が絶対に繋がると思います。水戸市は大きなものを作って、それを分散していくというやり方が多いですが、校長が変われば考え方も変わりますので、毎年作成するようになってしまい、教員の負担が増えるだけです。マネジメントの基本は、市ではなく学校や幼稚園ですので、そこを考えてやってほしいと思います。すでに連携がとれていて事業展開もできている保育所・幼稚園・小学校もあるわけですから、新たに作っても負担感しか残らないのではないのでしょうか。成果物ばかりあって、それに対しての評価が追いつかず、学校はランドデザインだけで精一杯です。そういうところを保幼小連携協議会で伝えるとよいと思います。

【____委員】

幼稚園は生活全体が遊びで、小学校に入ると急に学習という集団主義になります。1、2年のカリキュラムにしても、それを進めるための人間が不足しています。連携がうまくいかないのはその問題があると思います。保幼小の連携をもっと進めるためには、まとまって動いていく必要がありますので、地区ごとにがんばっても変わらないと思います。

【委員長】

次に「（２）その他」についてですが、事務局の方で何かありますか。

【執行機関】

特にございません。

【委員長】

それでは、以上をもちまして議事を終了いたします。

委員の皆様方には、議事進行にあたり御協力を賜り、ありがとうございました。

事務局に進行をお返しします。

【執行機関】

委員長、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和8年度第1回水戸市総合教育研究所運営委員会を終了いたします。第2回運営委員会につきましては、本日の御意見を参考に検討いたしまして、改めて御連絡をさせていただきます。

本日は、御多用中のところ、御出席をいただき、誠にありがとうございました。